



## 平成 20 年 12 月期 第 1 四半期財務・業績の概況

平成 20 年 4 月 25 日

上場会社名 株式会社千趣会

上場取引所 東証一部・大証一部

コード番号 8165

URL <http://www.senshukai.co.jp>

代表者 役職名 代表取締役社長

氏名 行待 裕 弘

問合せ先責任者 役職名 取締役 総務本部長、経営企画本部長

TEL (06) 6881-3100

氏名 藤 由 和 秀

(百万円未満切捨)

### 1. 平成 20 年 12 月期第 1 四半期の連結業績 (平成 20 年 1 月 1 日～平成 20 年 3 月 31 日)

#### (1) 連結経営成績 (%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期(当期)純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
20 年 12 月期第 1 四半期	37,467	△2.3	521	△74.6	△1,161	—	△1,326	—
19 年 12 月期第 1 四半期	38,342	9.7	2,055	181.0	2,147	136.1	1,083	73.3
19 年 12 月期	156,792	—	5,291	—	5,626	—	2,494	—

	1 株当たり四半期 (当期)純利益	潜在株式調整後 1 株当たり 四半期(当期)純利益
	円 銭	円 銭
20 年 12 月期第 1 四半期	△ 28 39	—
19 年 12 月期第 1 四半期	23 43	23 32
19 年 12 月期	53 60	53 46

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1 株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
20 年 12 月期第 1 四半期	101,817	49,778	48.9	1,065 56
19 年 12 月期第 1 四半期	98,392	56,630	57.5	1,215 36
19 年 12 月期	98,422	55,955	56.8	1,197 62

#### (3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
20 年 12 月期第 1 四半期	△ 3,700	△ 1,885	5,410	3,351
19 年 12 月期第 1 四半期	△ 750	△ 27	135	5,030
19 年 12 月期	1,444	△ 6,047	2,305	3,526

### 2. 平成 20 年 12 月期の連結業績予想 (平成 20 年 1 月 1 日～平成 20 年 12 月 31 日)【参考】

(%表示は、通期は対前期、中間期は対前年中間期増減率)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1 株当たり 当期純利益
	百万円 %	百万円 %	百万円 %	百万円 %	円 銭
中間期	81,500 2.3	2,100 △39.9	2,100 △46.4	900 △55.0	19 27
通期	160,000 2.0	3,300 △37.6	3,400 △39.6	1,400 △43.9	29 97

### 3. その他

- (1) 期中における重要な子会社の異動 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
 (2) 会計処理の方法における簡便な方法の採用の有無 : 有  
 (3) 最近連結会計年度からの会計処理の方法の変更の有無 : 無

〔(注) 詳細は、3 ページ【定性的情報・財務諸表等】 4. その他をご覧ください。〕

#### ※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記の予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

なお、上記予想に関する事項は 3 ページ【定性的情報・財務諸表等】 3. 連結業績予想に関する定性的情報をご参照下さい。

【定性的情報・財務諸表等】

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第 1 四半期（平成 20 年 1 月 1 日～平成 20 年 3 月 31 日）におけるわが国経済は、原油・原材料価格の高騰やサブプライムローン問題を背景とする米国経済の減速懸念により景況感は急速に悪化してきております。消費動向におきましては、消費者物価の上昇や定率減税廃止また雇用者所得の伸び悩みにより個人消費は停滞しております。このような中、通信販売業界におきましてはインターネット通販や携帯通販またTV通販などの企業が、売上を徐々に伸ばしてきております。その中で幅広い商品を取り扱う総合カタログ通販企業の業績は、天候不順の影響等もあり引き続き厳しい環境が続いております。

このような環境下、当社グループは、今年度を初年度とする新中期経営計画を策定し目標達成に向けグループ一丸となって取り組んでおります。

当第 1 四半期の売上高は、374 億 67 百万円（前年同期比 2.3%減）となりました。

利益面に関しましては、評価損の増加等による売上原価率の上昇と販売費及び一般管理費比率の上昇により、営業利益は 5 億 21 百万円（前年同期比 74.6%減）となりました。

また経常損失は為替差損及び複合金融商品評価損により 11 億 61 百万円（前年同期は 21 億 47 百万円の経常利益）となり、四半期純損失につきましては、13 億 26 百万円（前年同期は 10 億 83 百万円の純利益）となりました。

セグメント別の概況

（通信販売事業）

カタログ事業と頒布会事業を合わせた通信販売事業の当第 1 四半期の売上高は、頒布会事業は会員数減少となり売上は減少、またカタログ事業も、天候不順等の影響により売上減となり結果、売上高は、348 億 43 百万円（前年同期比 4.1%減）となりました。

利益面に関しましては、売上原価率と販売費及び一般管理費比率の上昇により、営業利益は 6 億 76 百万円（前年同期比 67.5%減）となりました。

(1) カタログ事業

当第 1 四半期の売上高は 318 億 63 百万円（前年同期比 3.8%減）となりました。

(2) 頒布会事業

当第 1 四半期の売上高は 29 億 80 百万円（前年同期比 7.1%減）となりました。

※ 今年度より組織変更に伴い頒布会事業とカタログ事業において一部媒体を相互に移管いたしました。対前年同期比数値は移管後の基準による比較となっております。

（その他の事業）

旅行・クレジットなどを主とするサービス事業と、運送事業及び店舗事業、法人事業及びペット事業などを合わせたその他の事業の当第 1 四半期の売上高は、26 億 23 百万円（前年同期比 31.3%増）となりました。また営業損失に関しては、1 億 51 百万円（前年同期は 43 百万円の営業利益）となりました。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

当第 1 四半期末における総資産は、前連結会計年度末に比べて 33 億 95 百万円増加し、1,018 億 17 百万円となりました。流動資産については、受取手形及び売掛金が 18 億 36 百万円増加したこと等により、12 億 12 百万円増加し、494 億 37 百万円となりました。また、有形固定資産が 2 億 13 百万円、無形固定資産が 72 百万円それぞれ減少いたしました。投資その他の資産が 24 億 68 百万円増加したことにより、固定資産は 21 億 82 百万円増加し、523 億 80 百万円となりました。

負債につきましては、前連結会計年度末に比べて 95 億 72 百万円増加し、520 億 39 百万円となりました。流動負債については、短期借入金が増加したこと等により、66 億 71 百万円増加し、478 億 46 百万円となりました。また、長期借入金が増加したこと等により、固定負債は 29 億 1 百万円増加し、41 億 92 百万円となりました。

純資産は、四半期純損失 13 億 26 百万円を計上するとともに、繰延ヘッジ損益が 35 億 20 百万円減少したこと等により、61 億 77 百万円減少し、497 億 78 百万円となりました。この結果自己資本比率は 48.9%となりました。

#### キャッシュ・フローの状況

当第 1 四半期末における現金及び現金同等物の残高は 33 億 51 百万円となり、前連結会計年度末と比較して 1 億 74 百万円の減少となりました。

「営業活動によるキャッシュ・フロー」は 37 億円の支出となりました。主なプラス要因は、その他流動資産の減少額 13 億 32 百万円であり、主なマイナス要因は、売上債権の増加額 18 億 36 百万円、法人税等の支払額 17 億 58 百万円、仕入債務の減少額 15 億 56 百万円であります。

「投資活動によるキャッシュ・フロー」は 18 億 85 百万円の支出となりました。主な要因は、投資有価証券の取得による支出 11 億 70 百万円、定期預金の増加額 5 億円であります。

「財務活動によるキャッシュ・フロー」は 54 億 10 百万円の収入となりました。主なプラス要因は、長期借入れによる収入 30 億 32 百万円、短期借入金の増加額 30 億円であり、主なマイナス要因は、配当金の支払額 6 億 20 百万円であります。

#### 3. 連結業績予想に関する定性的情報

通期の見通しにつきましては、景気のさらなる悪化による個人消費の減速や天候不順など懸念材料もあり、依然として厳しい経営環境が続くものと思われまます。当期（平成 20 年 1 月 1 日～平成 20 年 12 月 31 日）の連結業績は、当初（平成 19 年 12 月期決算発表時）の計画に対して、当第 1 四半期連結業績は想定した範囲内の実績であり、当初計画を達成できると見込んでおります。

なお、個別業績予想についても同様であります。

#### 4. その他

- (1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）

該当事項はありません。

- (2) 会計処理の方法における簡便な方法の採用

引当金の計上基準等に簡便な方法を採用しております。

- (3) 最近連結会計年度からの会計処理の方法の変更

該当事項はありません。

5. (要約) 四半期連結財務諸表

(1) (要約) 四半期連結貸借対照表

(単位 百万円)

期 別 科 目	前第1四半期末 (平成19年3月31日)		当第1四半期末 (平成20年3月31日)		増 減		前連結会計年度末 (平成19年12月31日)	
	金 額	構成比	金 額	構成比	金 額	増減率	金 額	構成比
(資産の部)		%		%		%		%
<b>I 流 動 資 産</b>	50,490	51.3	49,437	48.6	△ 1,053	△ 2.1	48,224	49.0
現金及び預金	5,011		3,269				3,444	
受取手形及び売掛金	12,944		13,048				11,211	
有 価 証 券	85		85				85	
た な 卸 資 産	18,960		19,971				19,318	
そ の 他	13,488		13,062				14,164	
<b>II 固 定 資 産</b>	47,901	48.7	52,380	51.4	4,478	9.3	50,197	51.0
有 形 固 定 資 産	24,851		24,814				25,028	
無 形 固 定 資 産	3,002		3,274				3,346	
投 資 そ の 他 の 資 産	20,048		24,291				21,823	
<b>資 産 合 計</b>	<b>98,392</b>	<b>100.0</b>	<b>101,817</b>	<b>100.0</b>	<b>3,424</b>	<b>3.5</b>	<b>98,422</b>	<b>100.0</b>
(負債の部)								
<b>I 流 動 負 債</b>	39,551	40.2	47,846	47.0	8,295	21.0	41,175	41.8
支払手形及び買掛金	11,235		9,466				11,023	
短 期 借 入 金	58		6,000				3,000	
未 払 金	7,030		7,053				6,423	
ファクタリング未払金	16,600		14,756				15,027	
そ の 他	4,625		10,569				5,701	
<b>II 固 定 負 債</b>	2,211	2.2	4,192	4.1	1,981	89.6	1,291	1.3
長 期 借 入 金	347		3,032				—	
そ の 他	1,863		1,160				1,291	
<b>負 債 合 計</b>	<b>41,762</b>	<b>42.4</b>	<b>52,039</b>	<b>51.1</b>	<b>10,276</b>	<b>24.6</b>	<b>42,466</b>	<b>43.1</b>
(純資産の部)								
<b>I 株 主 資 本</b>	62,072	63.1	61,039	60.0	△ 1,032	△ 1.7	63,020	64.1
資 本 金	20,359		20,359				20,359	
資 本 剰 余 金	20,943		21,038				21,038	
利 益 剰 余 金	21,512		20,272				22,253	
自 己 株 式	△ 746		△ 630				△ 630	
自己株式申込証拠金	3		—				—	
<b>II 評 価 ・ 換 算 差 額 等</b>	△ 5,511	△ 5.6	△ 11,263	△ 11.1	△ 5,751	—	△ 7,074	△ 7.2
その他有価証券評価差額金	1,291		△ 180				486	
繰 延 ヘ ッ ジ 損 益	530		△ 3,705				△ 185	
土 地 再 評 価 差 額 金	△ 7,301		△ 7,359				△ 7,359	
為 替 換 算 調 整 勘 定	△ 31		△ 16				△ 16	
<b>III 少 数 株 主 持 分</b>	68	0.1	1	0.0	△ 67	△ 97.3	10	0.0
<b>純 資 産 合 計</b>	<b>56,630</b>	<b>57.6</b>	<b>49,778</b>	<b>48.9</b>	<b>△ 6,851</b>	<b>△ 12.1</b>	<b>55,955</b>	<b>56.9</b>
<b>負 債 純 資 産 合 計</b>	<b>98,392</b>	<b>100.0</b>	<b>101,817</b>	<b>100.0</b>	<b>3,424</b>	<b>3.5</b>	<b>98,422</b>	<b>100.0</b>

(2) (要約) 四半期連結損益計算書

(単位 百万円)

期 別 科 目	前第 1 四半期 〔自平成19年1月1日 至平成19年3月31日〕		当第 1 四半期 〔自平成20年1月1日 至平成20年3月31日〕		増 減		前連結会計年度 〔自平成19年1月1日 至平成19年12月31日〕	
	金 額	百分比	金 額	百分比	金 額	増減率	金 額	百分比
I 売 上 高	38,342	100.0	37,467	100.0	△ 875	△ 2.3	156,792	100.0
II 売 上 原 価	19,563	51.0	19,370	51.7	△ 193	△ 1.0	80,864	51.6
売上総利益	18,779	49.0	18,097	48.3	△ 682	△ 3.6	75,928	48.4
III 販売費及び一般管理費	16,724	43.6	17,575	46.9	851	5.1	70,637	45.0
営業利益	2,055	5.4	521	1.4	△1,533	△ 74.6	5,291	3.4
IV 営業外収益	113	0.3	87	0.2	△ 25	△ 22.7	904	0.6
受取利息	66		15				353	
受取配当金	0		1				103	
為替差益	5		—				135	
その他の	41		71				311	
V 営業外費用	21	0.1	1,771	4.7	1,750	—	568	0.4
支払利息	9		17				64	
為替差損	—		1,130				—	
複合金融商品評価損	—		577				212	
その他の	11		46				291	
経常利益 (△は損失)	2,147	5.6	△ 1,161	△ 3.1	△3,309	—	5,626	3.6
VI 特別利益	145	0.4	—	—	△ 145	—	335	0.2
VII 特別損失	296	0.8	18	0.1	△ 278	△ 93.7	1,212	0.8
税金等調整前四半期 (当期) 純利益 (△は純損失)	1,996	5.2	△ 1,180	△ 3.2	△3,176	—	4,749	3.0
法人税等	918	2.4	154	0.4	△ 764	△ 83.2	2,275	1.4
少数株主損失	6	0.0	8	0.1	2	33.1	20	0.0
四半期 (当期) 純利益 (△は純損失)	1,083	2.8	△ 1,326	△ 3.5	△2,410	—	2,494	1.6

(3) (要約) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位 百万円)

科 目	期 別	前第 1 四半期	当第 1 四半期	前連結会計年度
		(自 平成 19 年 1 月 1 日 至 平成 19 年 3 月 31 日)	(自 平成 20 年 1 月 1 日 至 平成 20 年 3 月 31 日)	(自 平成 19 年 1 月 1 日 至 平成 19 年 12 月 31 日)
		金 額	金 額	金 額
<b>I 営業活動によるキャッシュ・フロー</b>				
税金等調整前四半期(当期)純利益 (△は純損失)		1,996	△ 1,180	4,749
減価償却費		379	445	1,724
販売促進引当金の増加(減少)額		202	110	△ 142
受取利息及び受取配当金	△	66	△ 16	△ 456
支払利息		9	17	64
複合金融商品評価損		—	577	212
売上債権の増加(減少)額	△	1,357	△ 1,836	375
たな卸資産の増加額	△	2,473	△ 652	△ 2,742
その他流動資産の減少(増加)額		306	1,332	△ 1,661
仕入債務の減少額	△	753	△ 1,556	△ 964
その他流動負債の減少(増加)額		1,474	△ 189	170
その他	△	321	970	171
小 計	△	604	△ 1,978	1,501
利息及び配当金の受取額		92	59	438
利息の支払額	△	20	△ 23	△ 69
法人税等の支払額	△	218	△ 1,758	△ 426
営業活動によるキャッシュ・フロー	△	750	△ 3,700	1,444
<b>II 投資活動によるキャッシュ・フロー</b>				
有形固定資産の取得による支出	△	580	△ 124	△ 1,904
無形固定資産の取得による支出	△	797	△ 127	△ 1,827
投資有価証券の取得による支出	△	192	△ 1,170	△ 3,354
投資有価証券の売却による収入		1,432	0	2,623
定期預金の増加額		—	△ 500	△ 1,217
その他		110	38	△ 366
投資活動によるキャッシュ・フロー	△	27	△ 1,885	△ 6,047
<b>III 財務活動によるキャッシュ・フロー</b>				
短期借入金の純増加額		—	3,000	3,000
長期借入れによる収入		66	3,032	66
長期借入金の返済による支出	△	53	—	△ 456
自己株式の取得による支出	△	19	△ 0	△ 32
自己株式の売却による収入		546	0	765
少数株主からの払込みによる収入		30	—	30
配当金の支払額	△	431	△ 620	△ 1,065
少数株主への配当金の支払額	△	2	—	△ 2
財務活動によるキャッシュ・フロー		135	5,410	2,305
<b>IV 現金及び現金同等物の減少額</b>	△	642	△ 174	△ 2,298
<b>V 現金及び現金同等物の期首残高</b>		5,549	3,526	5,549
<b>VI 新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額</b>		123	—	275
<b>VII 現金及び現金同等物の期末残高</b>		5,030	3,351	3,526